## e-ビーフNEWS 北の牧場から

July 2016

# 月刊情報誌 No.31

発 行 特定NPO環境リサイクル肉牛協議会 北海道帯広市西20条北2丁目 20-4 東洋内 TEL 0155-58-1129

#### 十勝のエゾ梅雨

6月に入り雨続き。お天道様がどこに行ったか状態です。内地の梅雨空と一緒ですね。これをエゾ梅雨と言います。内地と違って蒸さないけれど寒い。朝で10℃前後、日中でもあまり変わらずで、遂にストーブを点けました。農作業ができず、農家は大変です。主産物の小麦の開花時期なので、実が入らない不稔実が増えるのではと心配しています。こんな時でも雑草は繁茂し、農家のいらだちはより募ります。

先日からやっと晴れ間が出ました。お日さまがとてもまぶしい。うれしさの余り老若男女たくさんの人達が外に出て庭仕事をしています。やっと、初夏を告げる「カッコーカッコー」の声も街に響き渡り、巣立ちしたばかりの幼鳥なのか、小鳥が人見知りせず近くまで寄ってきます。今日は何と30℃。うれしいやらシンドイやら



## 活動のお知らせ

6月4日(土) 10:00~ ホテルグランテラス帯広

第17回通常総会 第1回肉牛飼養技術研修会&e-びーふ試食会25名参加で行われました。(写真)

榛澤牧場e-びーふと畜産試験場5等級草原和牛の試食会(写真) 総会資料は送付させて頂きます。





### NEWSばか読み

- 夕張メロン 初セリ2玉300万円最高値 5/27:夕張復興になれば
- 伊勢志摩サミット 世界経済に下振れリスク発生予測 5/27:アベノミクス評価
- アジアの干ばつ深刻 国際農作物相場に影響 5/28:この梅雨分けてあげたい
- 政府 特区の農家民泊に旅行立案の規制緩和 5/29:グリーンツアーリズムにそよ風
- 世界貿易 新興国経済低迷で成長停滞気味 5/30:新興国が世界を引っ張る
- 安倍首相 消費税増税19年10月に延期 5/31:何かが違うよ
- パナソニック TVパネルから撤退 5/31:白物家電業界の内政化が課題
- サントリー 国産原料のワインを中国に輸出 5/31:質・信頼・価格か
- 農研機構 IRや大豆組み合わせした国産たんぱく飼料原料開発へ 5/31:外国頼らず
- 5月素牛相場 10ヵ月ぶりに下落 6/1:肥育牧場限界
- JA全農 野菜供給会社に出資 6/2: JA全農コンツェルン建造中
- ●麻布大学 鶏インフル30分判定技術開発 6/2:流行防止に期待
- ●梅雨時期に集客対策 雨天の日はステーキ増量企画 6/3:テルテル坊主は逆さにするよ
- 農林水産省 牛乳の冷凍技術開発で賞味期限の延長 6/6:輸入もOKになるよ
- ●共立製薬 牛乳房炎にワクチン販売 6/8:これで予防できるの
- 日モンゴルEPA発効 6/8:値ごろの羊はいないかな
- ●梅雨に異変 少雨で産地田植えできず 6/8:北海道は長雨じゃ
- すかいらーく とんかつチェーン店を展開 料理専門性を伸ばす 6/8:外食試行錯誤

- ベトナムで公害 魚の大量死が相次ぐ 6/9:新興国の環境問題がアップする
- 農研機構(畜草研)反当1tの多収穫米「オオナリ」開発 6/9:期待感あり
- 長崎県肉用牛改良センター全国一のBMS10.2種牛開発 6/9:まだサシ志向性か
- ●広島大 コメ麹で善玉ビフィズス菌を増産 6/10:酵素の力に感服
- 長期金利 世界で低下 積極投資が鈍る 6/11:どこでも金余り現象
- 農林水産省 卸売市場で海外バイヤーの直取り緩和へ 6/11: 良いものが海外へ
- 味の素 インドネシアで調味料増産 6/11:万能味の素
- ●神戸食肉市場 施設改築し神戸牛輸出増へ 6/14:和牛の代表神戸牛か
- メガバンク三井住友がコメ生産に参入新会社設立 6/15:銀行資金の投入進む
- ふるさと納税 寄付件数が昨対3.8倍 返礼競争 6/15:地方産業に活性の目
- 消費者庁 機能性食品の届出 ネットでも可能 6/16:信頼性のチェック機能必須
- ●日本ハム 北海道乳業(本社函館)に2割出資 6/16:北海道を看板に資金集中
- 愛媛大 産後のうつ対策に牛乳が有効 6/17:Ca不足の補てん
- ●プリオン調査会 BSE検査48ヶ月齢も廃止へ 6/17:大事件の全てに幕か
- Jミルク 生乳増産へ長命連産技術の普及へ 6/18:基本から
- JA津別 2漁協とホタテの天敵ヒトデをたい肥化へ 6/18:農漁連携
- ●新車販売 国内500万台割れ 車離れ進む 6/19:金もないよ
- ●総務省 4ヶ月ぶりに貿易赤字 輸出の落ち込み最大 6/21:国内産業大丈夫
- セコマ アイスなどPB商品東南アジアへ輸出 6/22:健闘しているね ● 東電社長 5年前の福島メルトダウン隠ぺい謝罪 6/22:やっぱりね
- JA全農 7-9月配合飼料6ヶ月ぶりに値上げへ 6/23:ベースアップ
- 旭川ひかり牧場 酒粕給与の「旭高砂牛」ブランド化し販売開始 6/23:期待したい

## 東京直近NEWS (6/29 Shi-REPORT)

ホルス 販売状況停滞から中央市場の相場は若干下げ傾向の兆しあるものの相場は引き続き高値状況が継続している。産地は工場のと畜加工頭数確保の意識が強く、生体の集荷競争が依然強いため相対取引価格は下がらない。特にホルスは季節変動がこの一年近く無く、枝肉@1000超えが続いている。生産者側も、特にホルス以上では素牛も高騰している環境下から採算性を重視し相場を見ながら生体市場との比較や出荷時期の調整を実施している。販売面は6月後半から7月販売について、相当苦戦の状況が伺える。モモウデの赤身部位やバラ部位など構成比の重い部位の荷動きがすこぶる悪くなりつつある。既に大手メーカーからは、モモウデ荷余りから在庫膨れており投げ価格での放出噂が聞こえてきている。関東関西ともにバラや切落し材鈍く、ロースは関西で引合いややあるものの、関東では引合い無し。ホルスは品質価格面で輸入品へシフトしている状

況であり、給食関連も夏休み休暇でこの先約2カ月は鈍いだろう。

経産牛 道内の生体市場は変わらず高値安定。乾乳期から出荷頭数減少し始め、8月一杯は集畜に苦戦予測しさらなる相場上げに危惧。販売については、パーツ関係の引合いは一定量維持も、肥育牛のパーツ流通相場下落しており経産牛パーツの価格と流通量に影響与えて始めている。肥育牛特にホルスの価格訴求品が横行している点と輸入品にシフトしていることで経産牛パーツの引合いはやや弱まっている。しかしながら、牛脂関係の引き合いが強いことから、加工原料としての需要に期待。挽材原料も、売り場としてミンチの棚が縮小傾向は否めなく、完全に輸入ものと合挽の売場構成。販売状況とはまったく違った枝肉相場の環境。国産牛としてコストパフォーマンスと品質の安定した需要から、白上げセットなどの問合せはあるが、肉質の硬さや供給量の条件などが課題。

## 左先生の畜産学研究NEWS

英国民がEUからの離脱を選択したことは世界に波及する重大事です。月一回 のe-びーふNewsでは新鮮味に欠けますが、JA道中央会が今年農家の農畜産物 売上げが一兆円を超えたと発表している間に世界がどんどん変わって行くのを実 感します。TPP対応の農産物輸出も減速、株安による国内消費の落ち込み、異常 気象など不安が一杯で後継者育成の将来展望まで及びません。非農業者も日本 から中間層の活力が削がれて行くことに不安感を感じます。・・・半数改選の参院 選は消費増税の先送りとは別に、しっかりした人選をということでしょう。e-びーふ News31号の学術情報は、日本畜産学会報2号(5月)が中心です。

#### 1.日本畜産学会報87(2)125-131(2016)

トウモロコシ子実主体サイレージ(HMSCおよびCCM)の飼料成分組成, 発酵品 質および栄養価(大下友子他、北農研セ)

コストの輸入穀物飼料を自給する目的で、トウモロコシ子実や芯入り子実を収 穫・粉砕してコンバインの誘導選別機により芯などの夾雑物を最小に設定しハイ モイスチャーシェルドコーン(HMSC)と芯を最大混入させてコーンコブミックス (CCM)にして8ヶ月間サイレージ調製し、発酵品質や飼料特性を試験しました。そ の結果、CCMはHMSCよりもDMやNDFが多くデンプン含量は低く、HMSCの TDN含量は90.9%で、トウモロコシ子実主体サイレージによる濃厚飼料の低コス ト自給化は可能と思われますが、今後は価格を含めて、収穫調製作業体系の確立 が課題のようです。

#### 2. 日本畜産学会報87(2)133-141(2016)黒毛和種去勢牛における膨潤玄米 の給与が発育性および産肉性に及ぼす影響(齋藤邦彦他、家改セ)

前課題と同様の発想で膨潤化処理した飼料米(膨潤玄米:TDN88.2%. CP7.4%)による牛肉生産の配合飼料代替え試験です。玄米の膨潤化は100℃ 40分加熱後乳酸発酵調製し、配合飼料(TDN65.4%,CP15.9%)の30%代替え で黒毛和種去勢牛を18ヶ月肥育し、不足分は大豆粕で調整します。その結果、稲 わらの摂取量が増し飼料効率がやや低下するものの増体成績や枝肉成績に有意 な差はみられませんでした。配合飼料\43、膨潤玄米\45、稲わら\50/kgでは飼 料費が増すものの、膨潤玄米による30%代替えは有効な輸入穀物飼料節減の可 能性があると思われました。

#### 3.日本畜産学会報87(2)149-155(2016) 異なる品種のイワテヤマナシ果汁に 浸漬させた日本短角種牛肉の理化学特性(手塚 咲他、岩手大院農)

和牛の一品種の日本短角種牛は脂肪交雑が少なくヘルシー牛肉ですが、硬いと の評価があり、解決策として4種のイワテヤマナシ果汁のタンパク分解酵素作用を 約25ヶ月齢日本短角種牛肉の大腿二頭筋で保水性、色調などを検討しました。供 試果汁の糖分とpHは11.7%3.34,9.0%3.11,9.2%3.53, 12.7%4.14,牛肉 浸漬は等量の果汁液に4℃ 12.96.192時間です。その結果、イワテヤマナシ果 汁の筋肉浸漬でも肉色は維持され、果汁のpHの高いことが日本短角種牛肉の物 性を変えることはないと考えられました。

#### 4.日本畜産学会報87(2)157-163(2016) 浸漬液の違いが日本短角牛肉のコ ラーゲン性状および酸化に及ぼす影響(手塚 咲き他、岩手大院農)

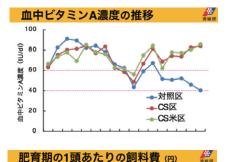
日本短角種牛肉は赤身肉が特徴とされ、一般に筋肉中ではもも肉(半膜様筋)が 硬く、軟化処理の研究が行われてきました。前報に続きイワテヤマナシ果汁の筋肉 軟化効果とpHとの関係を日本短角種牛の半膜様筋溶出コラーゲン含量から検討 しました。その結果、イワテヤマナシ果汁はpHが3.2と低くてもpH4.01の緩衝液 と同様に溶出コラーゲンが増し、筋肉の保水性が維持され、pHの高い緩衝液 (6.86)と同様の保水作用および抗酸化作用の可能性について示唆されました。

#### 畜産試験場NEWS 道総研

「育成期および肥育期におけるサイレージ給与法」③ 全6回シリーズ 畜産試験場 肉牛グループ 遠藤哲代







	CS (自家産)	CS (順入)	慣行法	
cs	5.6	13.9	_	
乾草	-	-	2.4	
麦稈	-	_	1.4	
濃厚飼料	16.7	16.7	28.6	
合計	22.3	30.6	32.4	

CSへの慣らし 1日1頭当たりの給与量 (kg) 4.5 3 2 1 0 5 9 15 12 4 3 2 1 1.2 2.4



	CS (32頭)	H26全道平均
支肉重量 (kg)	487	490
1-ス芯面積 (cm²)	60.3	58.0
<b>ベラ部厚 (cm)</b>	7.9	8.0
と下脂肪厚 (cm)	2.6	2.3
∮留り	74.0	74.1
BMS No.	5.8	6.1
SCS No.	3.8	3.8
りきめ	3.5	3.8



#### ②肥育試験による検討 試験処理: 対昭区 **CSIX** 頭数 6 6 粗飼料 乾草·麦稈 CS 破砕玄米40% 濃厚飼料 慣行配合飼料 混合飼料 試験期間:10~28か月齢

